

機能強化型 在宅療養支援病院
あねとす病院



医療法人 好文会
medical corporation koubunkai

「あねとす」とはギリシャ語で 「人間にとって快適な空間」という意味です。

病院理念

私たちあねとす病院職員は
患者様・利用者様にまごころを持って寄り添い
地域医療・介護に貢献します。

病院基本方針

1. 私たちあねとす病院職員は、高齢者慢性期医療・介護の充実に貢献します。
2. 私たちあねとす病院職員は、在宅医療の充実に貢献します。
3. 私たちあねとす病院職員は、「地域包括ケアシステム」の構築に貢献します。

患者さま・利用者さまへのお願い

1. 病気に関する正確な情報を医療者にお伝えください。
2. より良い医療環境を維持するために病院の規則をお守りください。
3. 安全確保のため職員との連携にご協力ください。
4. 医療行為は理解と納得をしたうえでお受けください。
5. 個人情報の保護に努めますが、円滑な医療・介護を提供するため必要に応じて他機関への情報提供をさせていただく場合がございます。

患者さんのための3つの宣言

1. 患者さんへ十分な説明を行い、同意を得て医療を提供します。
2. 患者さん御自身の診療情報を開示します。
3. セカンド・オピニオン(主治医以外の医師に意見を聞くこと)に協力します。

「患者さんのための3つの宣言」とは

患者さんと医療機関がよりよい関係を築くことを後押しするため、平成17年度から始まった
一般社団法人埼玉県医師会との共同事業です。他の都道府県に例を見ない埼玉県独自の制度です。



■ 病院概要

開設日：1914年(大正3年)3月7日

理事長：弓削 一郎

病床数：187床

うち 療養病床 154床
地域包括ケア病床 33床

診療科目：内科
外科
整形外科
皮膚科
リハビリテーション科

■ 医療設備

据置型デジタル式汎用X線透視診断装置

インバータ式回診用X線装置

全身用X線CT診断装置



● 外来診療

地域のかかりつけ医として皆さまの健康を支えています

内科

一般内科
神経内科

整形外科

皮膚科

専門外来

糖尿病外来
認知症外来
緩和ケア外来

あねとす病院は、大正3年の創業から今日まで100年以上にわたり、地域の「かかりつけ医」として近隣の皆さまの健康な生活を医療面から支えてきました。歴史の中で徐々に高齢者を対象とした慢性期医療・介護を充実させてゆき、現在外来ではご高齢の方が抱える疾病や身体的症状に対処可能な体制を整備しております。

ご高齢の患者さまにもできるだけご負担をお掛けしないように、受診に際し事前予約でご利用いただける無料送迎や、困りごとのお手伝いをするフロアコンシェルジュの配置など、継続的な通院をサポートしています。



外来無料送迎

- お身体の不自由な方
- 運転が困難な方
- 運転免許証を返納した方 など

通院が難しい患者さまを対象に、外来受診日に合わせご自宅から病院までを送迎いたします。車椅子対応車両もあります。ご利用を希望される際は、あらかじめご予約をお願いいたします。



フロアコンシェルジュ

- 困っている方へのお声かけ
- お身体の不自由な方や車椅子の方のお手伝い
- スタッフへの取りつぎ・誘導 など

患者さまへ、各種事務・診療手続きのご案内や施設への誘導、その他お困りごと・お問い合わせにきめ細かく対応いたします。

健康診断・予防接種 ※16歳以上の方対象

予約制となります。あらかじめお電話、または当院受付でご予約ください。

「かかりつけ医」を持ちましょう

患者さまご自身やご家族の健康に関する相談に気軽に応じてくれる身近で信頼できる医師のことを「かかりつけ医」といいます。かかりつけ医は、患者さまのふだんの健康状態や過去の病歴などを把握しており、病気の早期発見・早期治療が可能となります。急に具合が悪くなったとき適切な治療を受けたり、専門病院への紹介もスムーズに行われます。より適切に医療を受けるため、かかりつけ医を持ちましょう。

● 訪問診療

医師・看護師が定期的にご自宅に伺い在宅療養を支援します

訪問診療では、患者さまのご自宅などに1ヶ月に2回程度定期的・計画的に訪問し、診察・治療・療養上の相談・指導などを行います。

好文会は2008年に在宅支援診療所「あねとすホームケア診療所」を開設、2015年にあねとす病院と統合し、現在は「機能強化型在宅療養支援病院(※)」として訪問診療を行っております。また有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅・グループホームなどの在宅系施設へも診療に伺っています。

定期的な健康管理はもちろん、ご入院が必要になった場合には当院のベッドをご利用いただけるほか、地域の医療・介護サービス事業所とも密接に連携し、患者さまやご家族に安心して療養生活をお送りいただけるようサポートしています。



対応可能な医療処置等

- 点滴・注射
- 予防接種
- 関節内注射・神経ブロック・トリガーポイント
- インスリン・自己血糖測定
- 在宅酸素療法
- 経管栄養法(経鼻・胃瘻・腸瘻)
- 中心静脈栄養法(IVH,TPN)
- 尿道留置カテーテル・膀胱瘻・腎瘻
- 外傷や褥瘡などの形成外科的処置
- 胸水・腹水の穿刺・排液
- 疼痛の管理・麻薬の管理・PCAポンプの管理
- 胆道ドレナージチューブの管理 ほか

訪問診療の対象となる方

- お一人での通院が困難な方
- 寝たきりの方、または寝たきりに準ずる病院への通院が困難な方
- がんなどの疾病で、ご自宅・施設で緩和治療などをご希望の方
- ご自宅・施設での医療管理が必要な方
(点滴・経管栄養・中心静脈栄養・酸素療法・人工呼吸器管理etc.)
など

対応エリア ※事前にご相談ください。

- 深谷市(全域)
- 熊谷市および寄居町の一部

「機能強化型在宅療養支援病院(※)」とは

①24時間連絡を受ける体制および、往診または訪問看護ステーション等との連携による訪問看護が可能な体制を確保。②緊急時に在宅患者が入院できる病床を確保。③在宅医療を提供する常勤医を3名以上配置。④過去1年間で、緊急往診10件以上、在宅での看取り4件以上などの実績あり。などの基準を満たしている病院のことです。

● 地域包括ケア病棟 [3階 33床]

退院後の生活に向けた診療・看護・リハビリを提供します

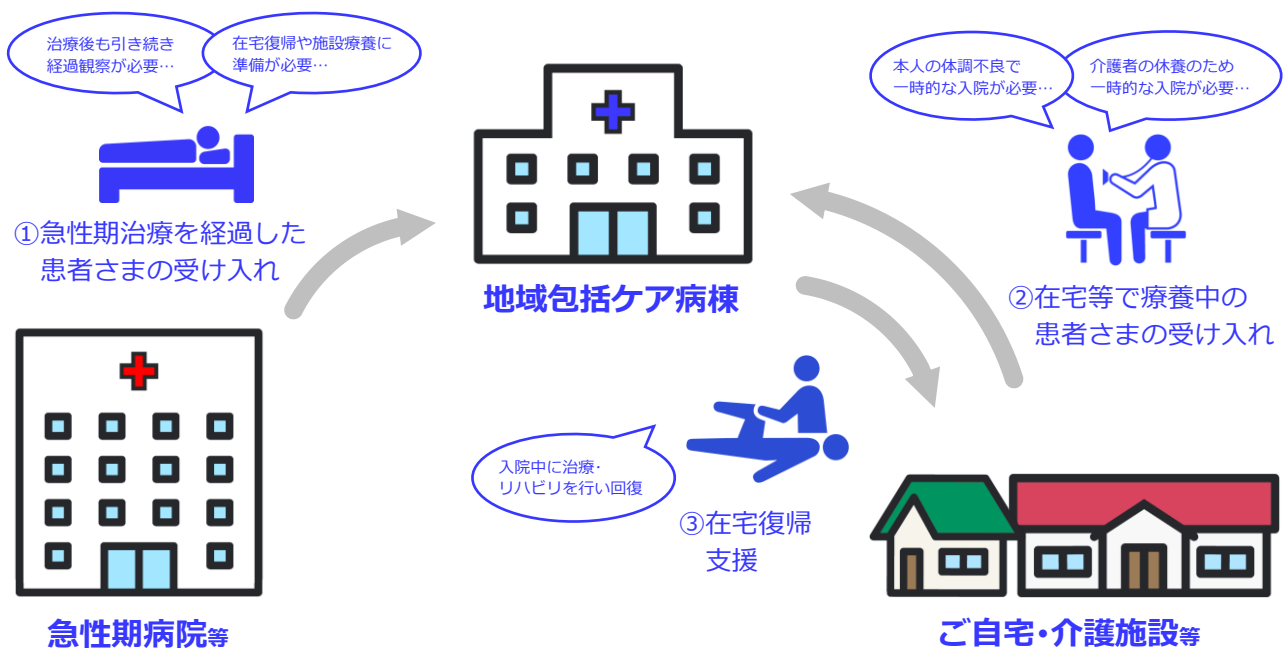
急性期治療が終わってもすぐにご自宅や施設へ移行するには不安のある患者さまや、在宅・施設療養中に緊急入院した患者さまに対して、在宅復帰に向けて診療・看護・リハビリの提供を行っています。

入院期間は原則最大60日までとなっており、在宅復帰をスムーズに行うため「在宅復帰支援計画」に基づき、医師・看護師・リハビリスタッフ等が協働し、効果的な在宅復帰支援を行います。

対象となる方の一例

- 急性期治療は終わったものの、しばらく経過観察が必要な方
- 在宅復帰のためにリハビリテーションが必要な方
- 在宅復帰のために療養準備が必要な方
- 在宅・施設等で療養中に症状が急性増悪した方や、集中治療の必要はないが入院が必要な方
- レスパイト入院(※)が必要な方 など

地域包括ケア病棟の役割



「レスパイト入院(※)」について

“レスパイト”とは「休息」「息抜き」という意味です。レスパイト入院とは、在宅で患者さまを介護されるご家族などが一時的に介護困難になった際、一定期間当院に入院できる仕組みのことです。介護者の介護疲れや体調不良、冠婚葬祭などの場合に、お申込みいただくことでご利用いただけます。介護保険サービスのショートステイなどでは受け入れが難しい、医療管理などが必要な方でも対応可能です。

- 介護者の病気やケガ、出産や体調不良で一時的に介護が困難
- 介護者の介護疲れ予防のための休養が必要
- 介護者の冠婚葬祭や旅行などでの不在 など、当院医療相談室(→8ページ)へお気軽にご相談ください。

● 医療療養病棟 [2階 58床 / 3階 36床 / 4階 60床 計154床]

医療が必要な方に対し継続的な療養生活を支援します

急性期治療後に、引き続き医療提供の必要性が高く、療養が継続的に必要な方(主に医療区分2・3に該当(下欄参照))が多く入院されています。

患者さま個々の状態管理(酸素療法・中心静脈栄養・気管切開チューブ管理など)や介護が必要な方のケア、また在宅復帰に向けた支援として、ご家族も含めた技術指導やサービスの調整などを行っています。

医師・看護師・リハビリスタッフ等が連携し、安心して療養できる生活環境をつくり、患者さまの残存機能を維持できるよう支援しています。



医療区分3の疾患・状態(当院で対応可能なもの)

疾患・状態

- スモン
- 医師及び看護師により、常時監視・管理を実施している状態

医療処置

- 24時間持続点滴
- 人工呼吸器使用
- 感染隔離室における管理
- 中心静脈栄養(必要とする状態かを毎月確認)
- 酸素療法(酸素を必要とする状態かを毎月確認)
- 発熱を伴う場合の気管切開、気管内挿管

医療区分2の疾患・状態(当院で対応可能なもの)

疾患・状態

- 筋ジストロフィー
- 多発性硬化症
- 筋萎縮性側索硬化症
- パーキンソン病関連疾患
- その他の難病(スモンを除く)
- 脊髄損傷(頸髄損傷)
- 慢性閉塞性肺疾(COPD)
- 肺炎
- 尿路感染症
- 脱水かつ発熱を伴う状態
- 体内出血
- 褥瘡
- せん妄
- うつ状態
- 疼痛コントロールが必要な悪性腫瘍
- リハビリテーションが必要な疾患が発症してから30日以内
- 頻回の嘔吐かつ発熱を伴う状態
- 末梢循環障害による下肢末端開放創
- 暴行が毎日みられる状態(原因・治療方針を医師を含め検討)

医療処置

- 喀痰吸引(1日8回以上)
- 頻回の血糖検査
- 気管切開・気管内挿管のケア
- 創傷(皮膚潰瘍・手術創・創傷処置)
- 発熱又は嘔吐を伴う場合の経腸栄養

● リハビリテーション科

個々の生活を考えた心身の機能回復・維持・強化をめざします

当院では入院患者さまに対し、各病棟で理学療法士・作業療法士が専門的なリハビリテーションを提供しています。

地域包括ケア病棟では、在宅復帰支援として患者さまが退院後も安心して自宅や施設で生活できるよう、実際の暮らしの場面を想定したリハビリを病棟専従のセラピストが提供しています。必要であれば患者さまのご自宅へ訪問し、介護サービス事業者なども交え、今後の具体的な生活環境を整えるなどのサポートを行っています。

医療療養病棟では、関節の拘縮予防やご自身で体位変換ができない方の循環不全とそれに伴う褥瘡などの予防が主体となっています。関節可動域訓練などのほかりラクゼーションの意義も大きく、特に療養病床では患者さまとリハビリスタッフが長く付き合うため自然と顔なじみになりやすく信頼関係も生まれます。患者さまにとって、長い療養生活を送るうえでの潤いとなっています。



● 栄養課

お一人おひとりに合わせた良質で安全なお食事を提供します

療養生活はふだんの生活と比べて、季節を感じることや食事を楽しむ機会が少なくなってしまうがちです。

当院では、治療の目的に沿ったメニューはもちろん、食欲のない患者さまにどうすれば召し上がっていただけるか、食事制限のある患者さまにいかにご満足いただくかなど、常に患者さまの気持ちを考えながら、お一人おひとりに対応した食事を提供する事を心がけています。

入院生活をより快適に過ごしていただくため、毎日の食事が楽しみとなるよう支援したいと考えています。



● 医療介護相談室

入退院支援をはじめとする療養生活上の相談やサポートを行います

入院はしたけど、支払いが心配…

医師から退院と言われたんだけど…

病気のことでよくわからないことがあるんだけど…

後遺症が残るらしいけれど、どうしたらいいの？

介護保険ってどういうもの？

社会保障や福祉の制度について知りたい

当院では、患者さまやご家族に安心して療養生活を送っていただけるよう、医療ソーシャルワーカーが相談を受けています。患者さまやご家族にとって入院の際は、病気の治療についてだけでなく、生活面や経済面でも不安がたくさんあることと思います。そのような状況だからこそ、専門家として患者さまやご家族を支えたいと考えています。

当院の医療介護相談室では社会福祉士や退院調整看護師等が連携して、さまざまなご要望に対し解決策を患者さま・ご家族と一緒に検討します。在宅療養生活へ向け、訪問診療・訪問看護など医療・介護サービスの情報提供なども行っております。

入退院時はもちろん、療養生活上でも「どこへ聞けばいいか、どうしたらいいかわからない」、そんなお悩みや不安をお持ちの方は、医療介護相談室までお気軽にご相談ください。



患者さまのサポート体制

- ①相談支援窓口では、患者さま・ご家族からの病気に関する質問や、生活上・入院上の不安などのご相談に懇切丁寧に対応しています。
- ②相談窓口には相談経験豊富な専任の担当者が常に配置されています。
- ③相談窓口と病院内の各部門が十分な連携をとっています。

医療介護相談室

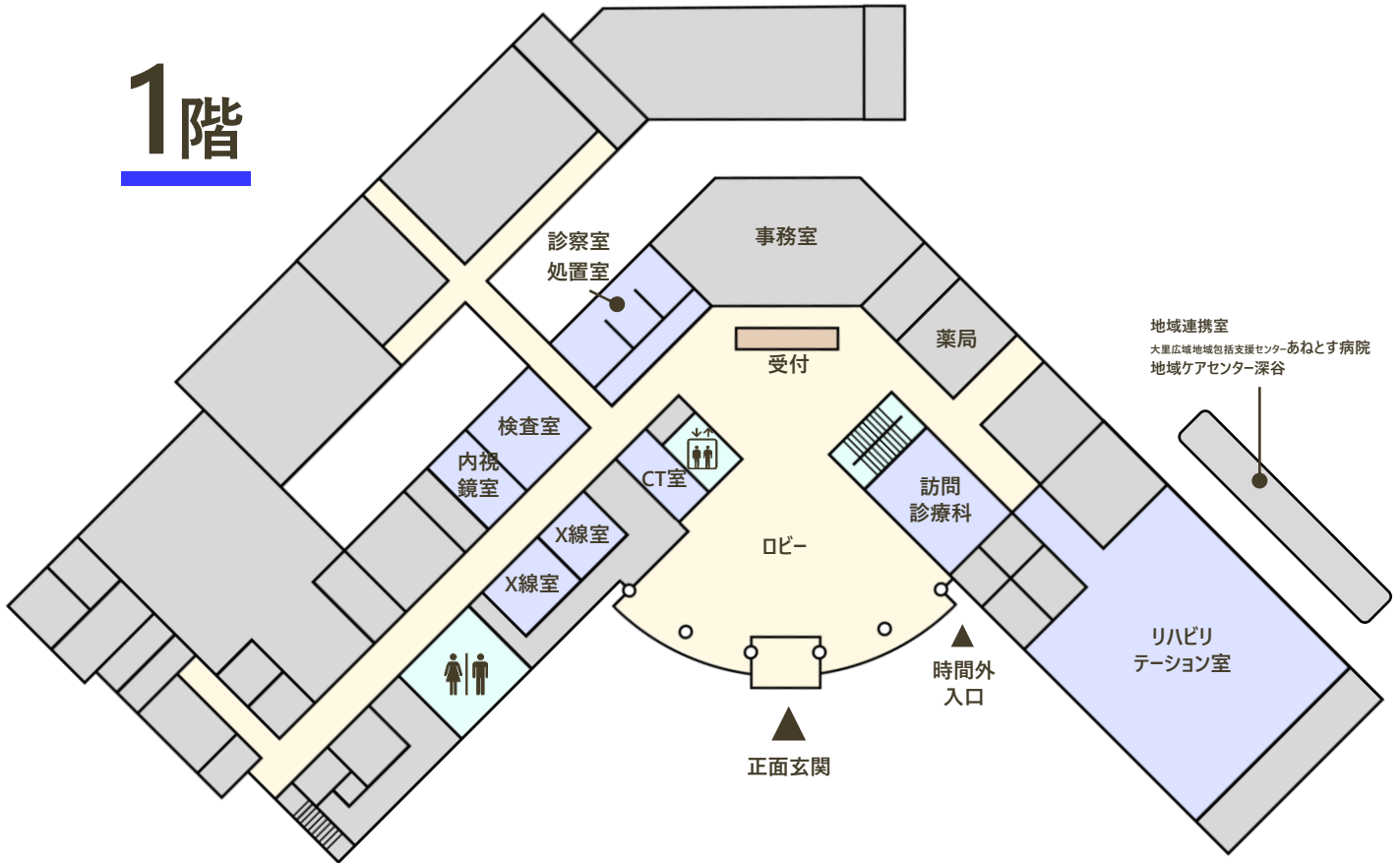
Tel.048-571-5311 (代)

受付時間

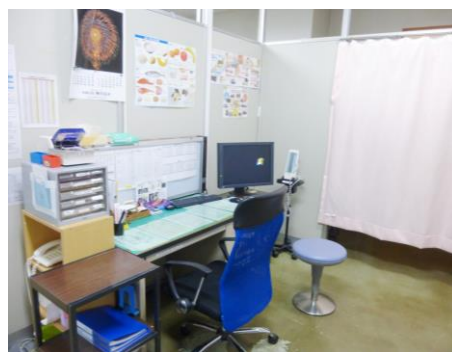
… 月～土 8:30 ~ 17:00

フロアマップ

1階



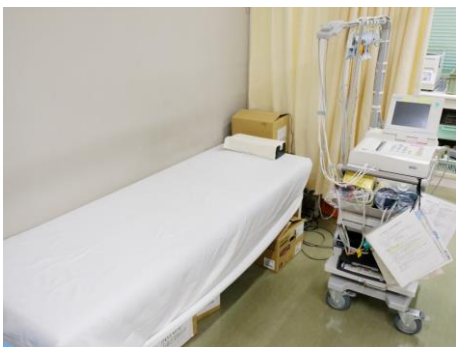
ロビー



診察室



リハビリテーション室



検査室

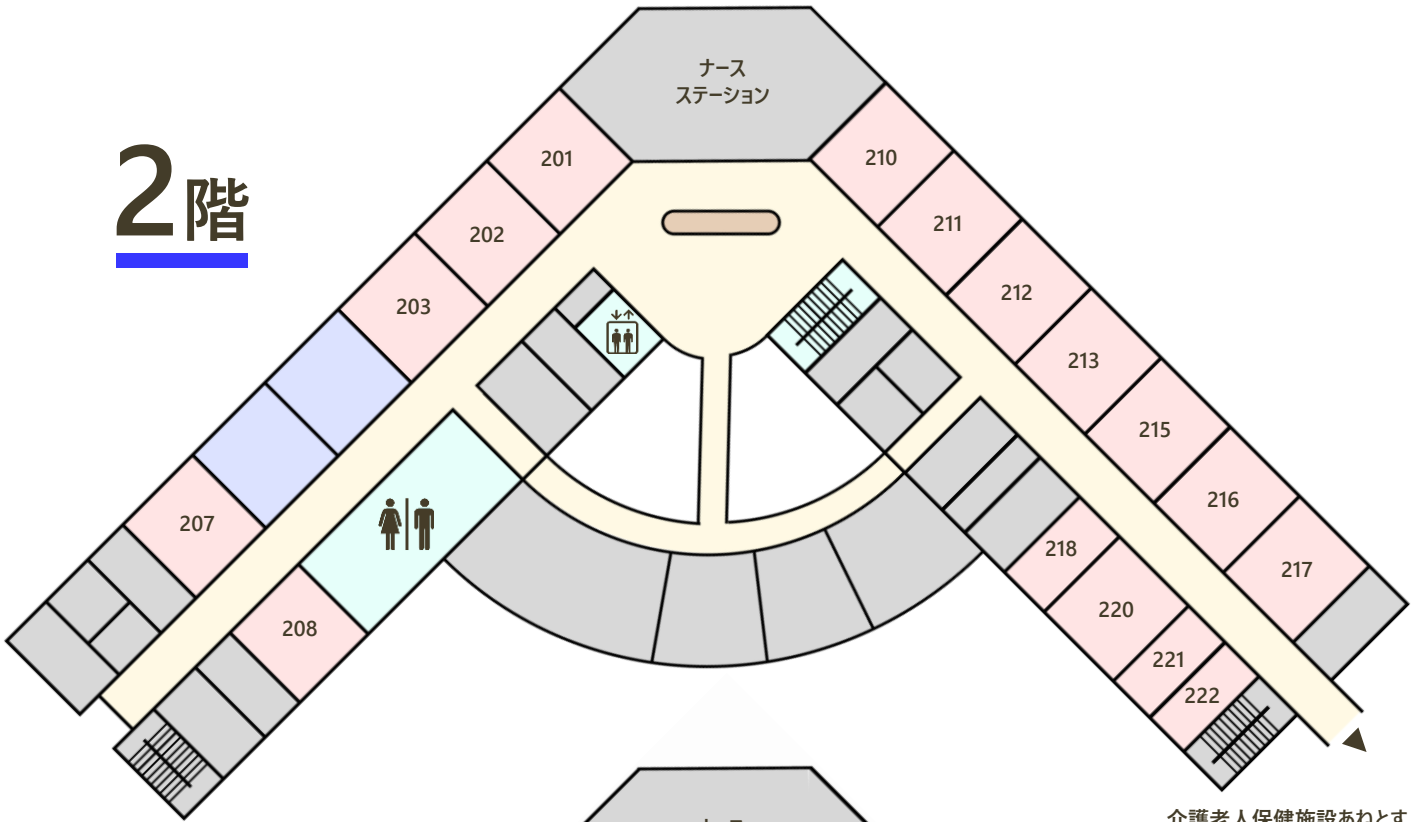


コンピュータ断層撮影装置(CT)



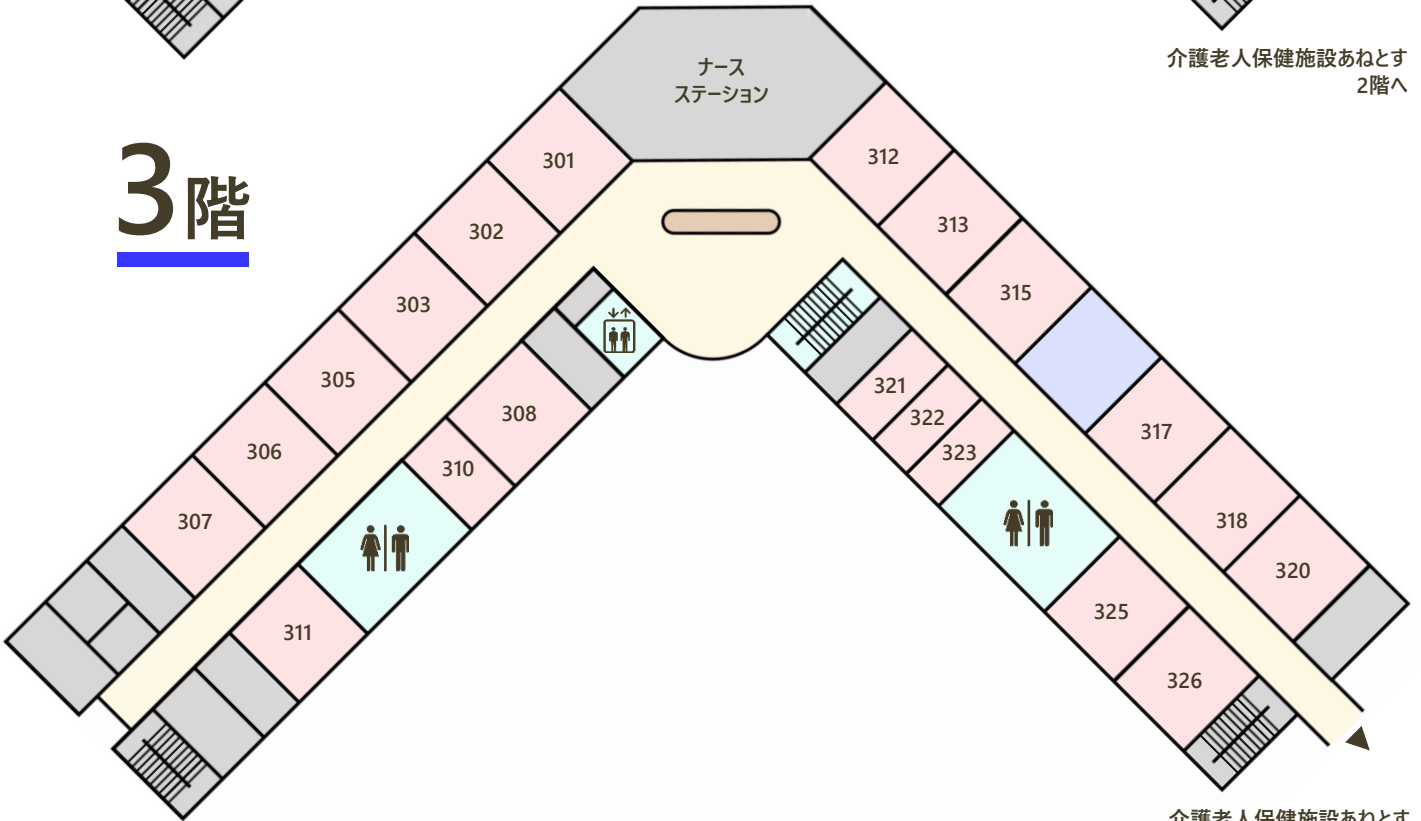
X線撮影装置

2階



介護老人保健施設あねとす
2階へ

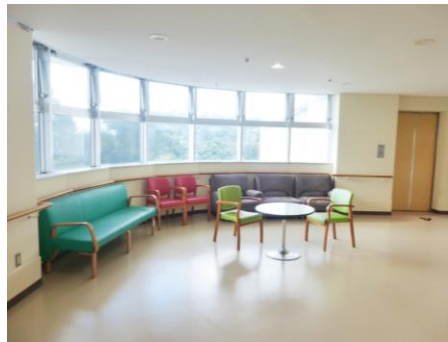
3階



介護老人保健施設あねとす
3階へ



ナースステーション

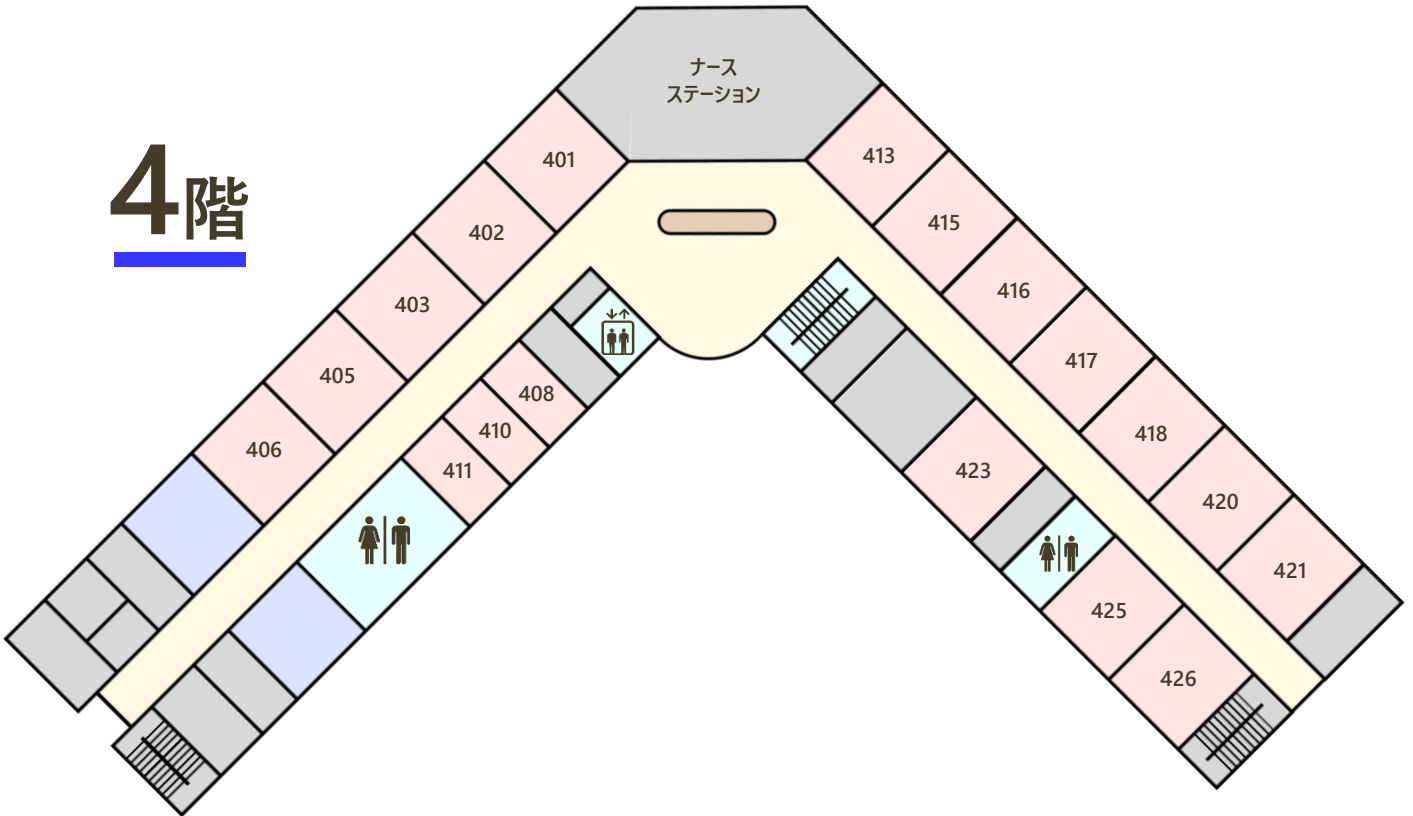


エレベーターホール

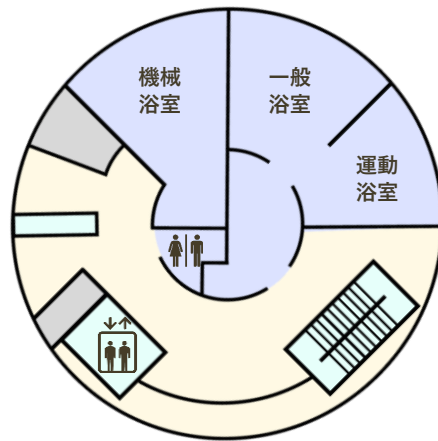


病室

4階



5階



機械浴室

5F

一般浴室
運動浴室
理髪室

4F

病室401~411	ナースステーション 面会コーナー	病室413~426
-----------	---------------------	-----------

3F

病室301~311	ナースステーション 面会コーナー	病室312~326
-----------	---------------------	-----------

2F

病室201~208	ナースステーション 面会コーナー 院長室 医局 会議室	病室210~222
-----------	--------------------------------------	-----------

1F

診察室 処置室 X線室 CT室 検査室 内視鏡室	受付 コピー 事務室 訪問診療科 医療介護相談室	リハビリテーション科 調剤室 健診科
-----------------------------------	-----------------------------------	--------------------------

病院フロア略図

地域連携室
地域ケアセンター-深谷
大里広域地域包括支援センター
あねとす病院

■ 病院沿革

※()内の数字は病床数

1914年(大正3年)3月

[門倉医院]開設

1964年(昭和39年)4月

[門倉病院]開設(38床)

1976年(昭和51年)11月

[医療法人 好文会]設立および[医療法人 好文会 門倉病院]開設(130床)

1987年(昭和62年)3月

[門倉好文記念病院]開設(264床)

2003年(平成15年)9月

門倉病院・門倉好文記念病院を併合し名称を[あねとす病院]に変更(307床)

2004年(平成16年)3月

[特定医療法人 好文会]承認

2011年(平成23年)4月

あねとす病院の介護療養病床120床を[介護療養型老人保健施設アルメリア]に転換(187床)

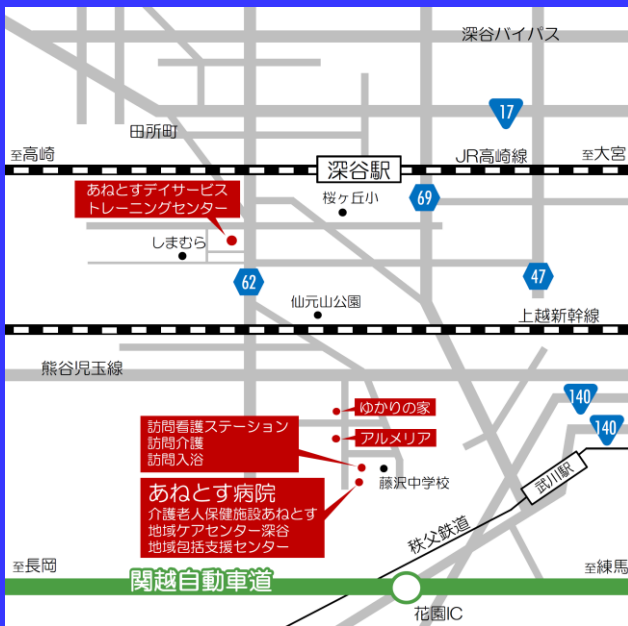


門倉病院



門倉好文記念病院

交通アクセス



電車でお越しの方

最寄り駅：JR高崎線 深谷駅

○深谷駅より車で約10分

○深谷市コミュニティバス 南部シャトル便
「藤沢公民館」下車 徒歩5分

お車でお越しの方

関越自動車道 花園ICより車で約10分

ホームページ

<https://www.anetosu.jp/>



医療法人 好文会
medical corporation kaubunkai

機能強化型
在宅療養支援病院

あねとす病院

〒366-0811 埼玉県深谷市人見1975番地

TEL.048-571-5311

FAX.048-572-8800

医療法人 好文会 グループ



介護療養型老人保健施設
アルメリア

TEL.048-574-8777

FAX.048-574-8822

埼玉県深谷市人見2031番地



介護老人保健施設
あねとす

TEL.048-570-0511

FAX.048-570-0512

埼玉県深谷市人見1975番地



短期入所生活介護
ゆかりの家

TEL.048-574-3900

FAX.048-574-6200

埼玉県深谷市人見2051番地1

あねとす訪問看護ステーション

TEL.048-577-4311 FAX.048-577-4334

あねとすデイサービストレーニングセンター

TEL.048-577-3483 FAX.048-577-3725

あねとす訪問介護

TEL.048-574-1540 FAX.048-572-0187

あねとす地域ケアセンター深谷

TEL.048-501-5500 FAX.048-501-5533

あねとす訪問入浴

TEL.048-573-0096 FAX.048-572-0187

大里広域地域包括支援センター あねとす病院

TEL.048-577-3201 FAX.048-577-3261